郷

六年

画数 11

筆順 ⺢ 𠂢 郷

オン キョウ・ゴウ

クン

成り立ち

郷（対称形）

〝村〟や〝町〟の意味を表した〝阝〟とその対称形の〝乡〟と、この字の発音を表す〝皀〟とを組み合わせて作った字です。

自分の住む村や町だけでなく、近所の村や町をふくめた「〝いなか〟の村や町」を表した字です。

〝ふるさと〟の村や町のことです。例郷土、帰郷、望郷、同郷、郷愁。

単に、〝村里〟や〝土地〟の意味にも使います。例水郷、近郷、異郷、他郷。

使い方

▽ぼくのおかあさんの故郷は、長野県です。今年の冬は帰郷して、みんなでスキーを楽しみました。

▽旅に出て長いことたつと、だれでも望郷の念にかられるものです。だれにとっても自分の家や、自分の住む町は、なつかしく、郷愁をそそるものです。

熟語例

▽郷土（自分が生まれて育った土地）

▽故郷（自分が生まれ育った土地。ふるさと）

▽帰郷（故郷に帰ること。）

▽望郷（故郷をなつかしむこと。）

▽同郷（故郷が同じであること。「同郷の友だちが、たずねて来た」などというふうに、つかいます。）

▽郷愁（故郷をなつかしいと思う気持ち）

▽水郷（水辺にある土地。川や湖で有名な村など。「スイキョウ」とも読みます。）

▽近郷（近くの村。「近郷近在に聞こえた大金持ち」などというふうに、つかいます。「近在」というのも、「近くの村」の意味です。）

▽異郷（よその土地。例「異郷をさすらう」など）

勤

六年

画数 12

筆順 一 廿 苴 苹 堇 勤

オン キン・ゴン

クン つと＝める＝まる

成り立ち

勤

〝黄（2年136）〟と〝土〟とを組み合わせて、〝黄土〟という意味を表した〝堇〟と、〝働く〟意味の〝力〟とを組み合わせて作った字です。

中国には、黄土と言って、粒の細かい土の層が広くあることは大そう有名です。「黄土のように細かく心を使って、力いっぱい働く」ことを表した字です。このことを〝勤める〟と言います。〝勤める〟ことを表した字です。

例精勤、通勤、忠勤、出勤、夜勤、勤労、勤務、勤勉、勤怠。

使い方

▽ぼくのおとうさんは、出勤する時は、いつもおかあさんの作ったお弁当を持って行きます。おかあさんのお弁当は、栄養のバランスがとれていて、良いのだそうです。

▽わたしは毎日、勤勉に予習・復習をしています。予習をすると先生の言葉が良くわかるし、復習をすると習ったことを忘れないからです。

熟語例

▽精勤（熱心に勤めること。「毎日、精勤ごくろうさま」などというふうに、つかいます。）

▽通勤（勤めている場所に通うこと。）

▽忠勤（忠実に勤めること。）

▽出勤（勤めに出かけること。）

▽夜勤（夜の勤め。「夜勤のおまわりさん」などというふうに、つかいます。）

▽勤労（勤務や労働など、報酬を得るための仕事）

▽勤務（職務として勤めること。）

▽勤勉（仕事や勉強をまじめにやること。）

▽勤怠（勤めることと、怠けること。）